

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	商業観光課	事業No.	208
		会計	一般会計		
事務事業名		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	
	分野別計画			第3期飯田市中心市街地活性化基本計画	
法令・例規等			中心市街地の活性化に関する法律		
事業目的		対象	中心市街地		
		意図	活性化のための事業が展開され、中心市街地の魅力が向上し、来訪者が増加する		

2 事業内容

3年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	コロナ禍において、例年通りの賑わいイベント等を開催することはできませんでしたが、単日イベントを期間イベントに変更したり、オンラインで実施しました。明治大学との協働研究では、空き家・空き店舗の活用について研究しました。次世代デジタル技術を活用したまちづくりの取組として、民間企業と協力し「飯田丘のまちXRツアー」アプリを開始し、中心市街地の魅力を発信しました。電気小型バスの運行事業を効果的に進めました。		中心市街地活性化協会負担金			1,400	
			まちのデザイン研究事業			5	
			次世代デジタル技術を活用したまちづくり事業			1,500	
			電気小型バス運行業務			2,347	
			空き家・空き店舗活用の実行組織・仕組みづくり			0	
			旧ピアゴ他低・未利用地活用整備事業			0	
			その他の経費		951		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	
	第3期中活計画に基づく事業の着手数	件	28	28			
	電気小型バス運行便数	便	1,000	1,067			
	まちなか賑わいづくり事業実施回数	回	1	1			
	大学等との共同研究事業数	件	1	1			
	デジタル技術の活用による関係人口数	人	400	569			
	空き家・空き店舗活用に向けた勉強会	回	1	1			
3年度 決算 (千円)	予算額	396,036	特定財源内訳及び補正事項				
	決算額	6,203	3 → 4 繰越明許費 388,000千円				
	財源の 状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
	一般財源	6,203					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	6	13	14	393,655	3,856	中心市街地活性化推進事業費
2	1	7	1	6	13	22	2,381	2,347	電気小型バス実証運行業務費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		第3期飯田市中心市街地活性化基本計画に掲載されている事業を推進しました。コロナ禍の影響もあり予定通りの開催とはいきませんでした。オンラインイベントに変更するなど中心市街地活性化協会や市民・団体の皆さんと工夫しながら事業を実施しました。コロナ禍の影響により、まちの賑わいづくりを目的とした事業をこれまで同様に実施することは難しい状況です。そのため、感染対策をとりながら日常的な賑わいの創出に向けた展開も検討していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		飯田市中心市街地活性化協会の事務局である商工会議所・まちづくりカンパニー、市が連携を取りつつ、関係者が主体的に取り組む働きかけが必要です。また、単日事業を月間事業等に変更することで、参加者が分散しコロナ感染防止となるだけでなく、日常的なまちの賑わいづくりへもつながる可能性があるため、事業展開について検討する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		事業に関する市民や地域、団体や企業と、中心市街地活性化基本計画の共有化を図るとともに、事業内容を協議しまちの賑わいづくりに向けた展開を推進します。また、日常的なまちの賑わいの創出に向けて、既存事業の開催方法を関係者と検討していくとともに、丘の上結いスクエアに設置されるXR室や次世代デジタル技術の活用に取り組めます。							